

令和6年度 決算説明書 / 事業評価シート

予算			目名	決算書(P)
款	項	目		
5(7)	1(4)	4(7)	土地改良費（公共下水道費）	9(149)(185)

部局名	都市整備部
課 名	下水道課

I：事業概要

施策事業名	下水道事業会計繰出金
事業目的	公共下水道事業、農業集落排水事業の適切な事業運営及び公共下水道事業の推進を図る。
事業内容	●下水道事業会計繰出金 ・公共下水道事業、農業集落排水事業の適切な事業運営及び公共下水道事業の推進を図るため、企業債及び人件費等の経費について、一般会計より繰り出す。
事業の成果・効果	一般会計からの繰り出しにより、公共下水道事業及び農業集落排水事業の適切な事業運営が図れた。

I I：個別事業内訳

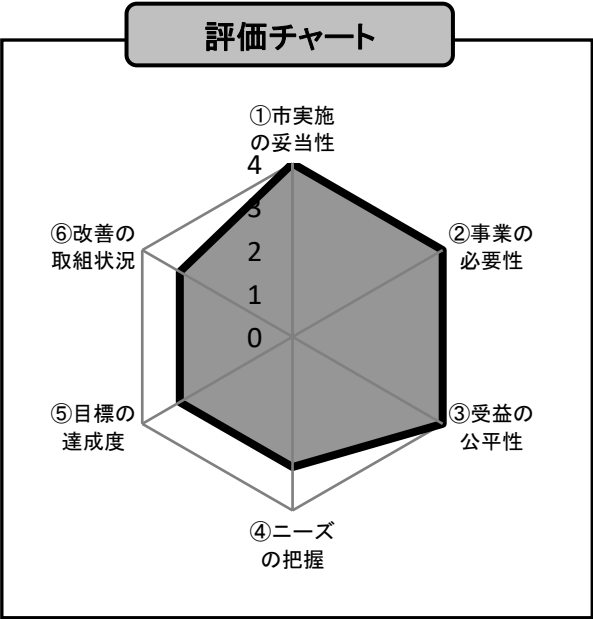
(単位：千円)

(見直し・点検進捗評価は4段階)

事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	見直し・点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		利便性向上	情報発信・共有化	業務の効率化
下水道事業会計繰出金(5.1.4農集分)	58,416	0	58,416	100%	3	3	3
下水道事業会計繰出金(7.4.7公共下水分)	934,292	0	934,292	100%	3	3	3
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	992,708	0	992,708	100%	3	3	3

Ⅲ：年度別事業費の状況 (単位：千円)

事業費		R5決算	R6決算	R7予算
		988,680	992,708	963,129
財源内訳	国県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	988,680	992,708	963,129
一般財源の割合		100%	100%	100%



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	下水道法により、公共下水道事業は市が行う事業である。農業集落排水事業により設置された施設であり、市にて実施する必要がある。
②事業の必要性	4	公共下水道事業及び農業集落排水事業区域の市民に直結している事業であり、継続実施が必要な事業である。
③受益の公平性	4	公共下水道事業及び農業集落排水施設を利用できる市民すべてが対象となる事業である。
④ニーズの把握	3	公共下水道事業及び農業集落排水施設を利用できる市民すべてが対象とあり、公衆衛生の向上、環境美化のために必要不可欠な事業であるためニーズもある。
⑤目標の達成度	3	公共下水道事業及び農業集落排水事業の運営及び施設の適切な維持管理を行った。有収率の向上に向けて管更生工事や取付管部の改良工事を行ったが、さらに有収率の向上に向けて改善していく必要がある。管きよ整備工事に遅れが生じた。
⑥改善の取組状況	3	一宮建設事務所管内5市2町との共同管路調査を令和6年度より実施した。

Ⅴ：業務の見直し・点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和6年度に見直しを実施した事項	今後の安定した事業経営を図るため、下水道事業経営戦略改定審議会より使用料改定の必要性を含めた答申を受け、犬山市下水道事業経営戦略を改定した。有収率の向上及び老朽化対策を図るため、管更生工事及び取付管部の改良工事を継続実施した。尾張5市2町による共同管路調査を行った。
令和7年度に見直しを実施している事項	改定した犬山市下水道事業経営戦略に基づき、下水道条例の改正に伴う使用料改定を実施予定。また、有収率の向上及び老朽化対策を図るため、管更生工事及び取付管部の改良工事を継続実施。一宮建設事務所管内5市2町による共同管路調査の継続実施。
今後見直しを検討する事項	農業集落排水区域の公共下水道区域への編入について調査検討を行う。民間包括委託(WPPP)について調査・研究を行う。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和6年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
管きよの維持管理(老朽化対策・有収率の向上) 経費回収率の向上	有収率向上のため管更生工事及び取付管部改良工事の継続実施。 経費回収率向上に向けた使用料の改定(予定)

令和6年度 決算説明書 / 事業評価シート

企業会計名	決算書(P)
下水道事業会計	—

部局名	都市整備部
課 名	下水道課

I：事業概要

施策事業名	下水道事業 収益的収支事業（汚水・雨水・農集）
事業目的	生活環境の改善と公共用水域の水質保全を図るため、公共下水道事業、農業集落排水事業を適切に運営した。
事業内容	●全体計画 ・使用者から適切な使用料徴収と、下水道管きよ、マンホールポンプ場、入鹿神尾地区浄化センター等の適切な維持管理を行う。 ●主な事業内容 ○汚水管渠費 89,970,213円 ・管きよ、マンホールポンプ場等の維持管理費 ○処理場費 14,688,255円 ・浄化センターの維持管理費 ○普及指導費、業務費 50,790,686円 ・下水道事務委託、下水道使用料徴収事務委託等 ○総係費 78,120,577円 ・一般事務に係る職員人件費等 ○流域下水道維持管理負担金 456,158,096円 ・流域下水道処理場の運転管理に関わる負担金 ○減価償却費、資産減耗費 913,971,752円 ・資産の減価償却費及び除却費 ○営業外費用 91,709,177円 ・企業債利息、消費税等
事業の成果・効果	生活環境の改善と公共用水域の水質保全を図るため、公共下水道事業、農業集落排水事業を適切に運営した。

II：個別事業内訳

（単位：千円）

（総点検進捗評価は4段階）

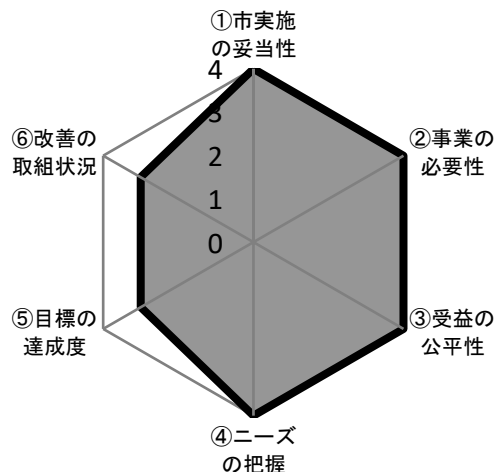
事業名	決算額	財源内訳		一般財源の割合	総点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		利便性向上	報発信・共有	業務適正化
汚水管渠費、雨水管渠費	89,970	89,970	0	0%	3	3	3
処理場費	14,688	14,688	0	0%	3	3	3
普及指導費、業務費、総係費	128,911	128,911	0	0%	3	3	3
流域下水道維持管理負担金	456,158	456,158	0	0%	4	3	3
減価償却費、資産減耗費	913,972	913,972	0	0%	4	4	3
営業外費用	91,709	91,709	0	0%	4	4	4
特別損失、予備費	110	110	0	0%	4	4	4
合計	1,695,518	1,695,518	0	0%	3	3	3

Ⅲ：年度別事業費の状況

(単位：千円)

事業費		R5決算	R6決算	R7予算
		1,633,515	1,695,518	1,848,041
財源内訳	国県支出金	5,000	10,000	15,000
	地方債	0	0	0
	その他	1,628,515	1,685,518	1,833,041
	一般財源	0	0	0
一般財源の割合		0%	0%	0%

評価チャート



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	下水道法により、公共下水道事業は市が行う事業である。 農業集落排水事業により設置された施設であり、市にて実施する必要がある。
②事業の必要性	4	公共下水道事業及び農業集落排水事業区域の市民に直結している事業であり、市民共有の財産として維持・管理の継続実施が必要な事業である。
③受益の公平性	4	公共下水道事業及び農業集落排水施設を利用できる市民すべてが対象となる事業である。
④ニーズの把握	4	公共下水道事業及び農業集落排水施設を利用できる市民すべてが対象となり、公衆衛生の向上、環境美化のために必要不可欠な事業であり、ニーズもある。
⑤目標の達成度	3	公共下水道事業及び農業集落排水施設の運営及び施設の適切な維持管理を行った。 さらに有収率の向上に向けて改善していく必要がある。
⑥改善の取組状況	3	一宮建設事務所管内5市2町との共同管路調査を令和6年度より実施した。

Ⅴ：業務の総点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和6年度に見直しを実施した事項	今後の安定した下水道事業経営を図るため、下水道事業経営戦略改定審議会より使用料改定の必要性を含めた答申を受け、犬山市下水道事業経営戦略を改定した。 尾張5市2町による共同管路調査を行った。
令和7年度に見直しを実施している事項	改定した犬山市下水道事業経営戦略に基づき、下水道条例の改正に伴う使用料改定を実施予定。 犬山市下水道事業経営戦略に基づく事業実施。 尾張5市2町による共同管路調査の継続実施。
今後見直しを検討する事項	農業集落排水区域を公共下水道区域への編入について調査検討を行う。 民間包括委託(WPPP)について調査・研究を行う。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和6年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
管きよの維持管理(老朽化対策・有収率の向上) 経費回収率の向上。	経費回収率向上に向けて使用料の改定(予定)

令和6年度 決算説明書 / 事業評価シート

企業会計名	決算書(P)
下水道事業会計	—

部局名	都市整備部
課 名	下水道課

I：事業概要

施策事業名	下水道事業 資本的収支事業（公共・農集）
事業目的	生活環境の改善と公共用水域の水質保全を図るため、公共下水道事業、農業集落排水事業の施設整備を行う。
事業内容	●全体計画 ・五条川右岸処理区及び五条川左岸処理区の下水道整備を行う。 ・老朽化した管きよの更生工事を行う。 ・入鹿神尾地区浄化センター及び管きよの計画的な更新・改良工事を行う。 ●主な事業内容 ○公共下水道事業 1,001,330,423円 ・五条川右岸処理区（坂下・上坂地区）の整備 ・五条川左岸処理区（前原台団地地区）の整備 ・管きよ更生工事等 ○農業集落排水事業 24,974,400円 ・浄化センター機械設備更新等 ・管きよ更生工事等 ○流域下水道建設負担金 40,515,801円 ・流域下水道施設の建設に関わる負担金 ○企業債償還金 684,373,009円
事業の 成果・効果	五条川右岸処理区の犬山西古券地区の(9.80ha)整備を実施した。 五条川右岸処理区の犬山西古券地区の一部(10.75ha)を供用開始した。 五条川左岸処理区の前原台団地地区(5.05ha)の整備を実施した。

II：個別事業内訳

(単位：千円)

(総点検進捗評価は4段階)

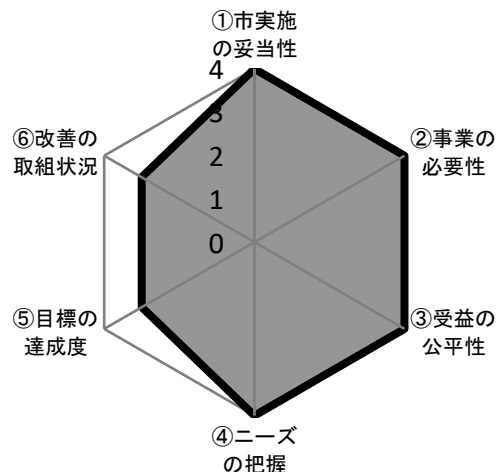
事業名	決算額	財源内訳		一般財源 の割合	総点検進捗評価		
		特定財源	一般財源		利便性向上	報発信・共有	業務適正化
汚水管路建設費	872,860	872,860	0	0%	3	3	2
汚水管路改良費	149,639	149,639	0	0%	4	3	3
処理場建設改良費	3,806	3,806	0	0%	4	3	3
流域下水道建設負担金	40,516	40,516	0	0%	4	4	4
企業債償還金	684,373	684,373	0	0%	4	4	4
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
合計	1,751,194	1,751,194	0	0%	3	3	3

Ⅲ：年度別事業費の状況

(単位：千円)

事業費		R5決算	R6決算	R7予算
		1,466,665	1,751,194	1,656,819
財源内訳	国県支出金	126,551	181,006	120,500
	地方債	516,300	749,600	749,900
	その他	823,814	820,588	786,419
	一般財源	0	0	0
一般財源の割合		0%	0%	0%

評価チャート



Ⅳ：事業の評価 (PDCAサイクルのCheck)

評価の観点	評価	評価根拠
①市実施の妥当性	4	下水道法により、公共下水道事業は市が行う事業である。農業集落排水事業により設置された処理施設であるため、市にて事業実施する必要がある。
②事業の必要性	4	公共下水道事業及び農業集落排水事業区域の市民に直結している事業であり、市民共有の財産として維持・管理の継続実施が必要な事業である。
③受益の公平性	4	公共下水道事業及び農業集落排水施設を利用できる市民すべてが対象となる事業である。
④ニーズの把握	4	公共下水道事業及び農業集落排水施設を利用できる市民すべてが対象となり、公衆衛生の向上、環境美化のために必要不可欠な事業であり、ニーズもある。
⑤目標の達成度	3	公共下水道及び農業集落排水施設の管更生工事を継続して実施したが、有収率の向上に向けてさらに改善をしていく必要がある。坂下・上坂地区の管きょ整備工事の一部に遅れが生じ、年度内の供用開始ができない地域が発生した。
⑥改善の取組状況	3	今後の安定した事業運営を図るため、老朽化した管きょの管更生工事について継続実施した。取付管部の改良工事について、管更生工事に合わせて実施した。

Ⅴ：業務の総点検 (PDCAサイクルのC→A)

令和6年度に見直しを実施した事項	犬山市下水道事業経営戦略改定審議会からの答申を受け、犬山市下水道事業経営戦略を改定した。不明水対策を行うため、管更生工事及び取付管部改良工事を継続実施した。
令和7年度に見直しを実施している事項	改定した犬山市下水道事業経営戦略に基づく計画的な事業の継続実施。不明水対策を行うため、管更生工事及び取付管部改良工事を継続実施。
今後見直しを検討する事項	下水道計画区域見直し後の計画区域について、下水道法事業計画、都市計画法事業計画の取得及び都市計画審議会に諮り都市計画決定を行う。不明水対策を行うため、管更生工事及び取付管部改良工事の継続実施。

Ⅵ：課題とその対応策及び今後の方向性 (令和6年度におけるPDCAの成果：次のサイクルに反映させていく事項)

課題	対応策・今後の方向性
管きょの更新・改良	不明水対策を行うため、管更生工事及び取付管部改良工事の継続実施。